

あかるいまち21 豪雨災害対策ニュース

No.1155 2018年7月13日組合員活動推進課 TEL082-532-1264

	7月累計	2018年度
組合員ふやし	37人	295人
出資金ふやし	420万円	2550万円
純増	178万円	▲57万円

続々と職員が現地入り！被災地組合員訪問 ③

午前～東区馬木

本日7/13は、延べ12名の職員が災害対策支援に参加しました。

この地域はいまだ行方不明の方がおられるほど大きな被害が出ているところです。10件の組合員のうち、9件の方にお会いできました。そのうち1件は土砂が家の中に流れ込むという大きな被害にあわれ、昨日まで避難所生活をされていました。ようやく家の前の土砂が撤去され、今日から家の清掃に入られているところでした。



今回の災害は砂防ダムが決壊したことで一気に土砂が流れ込み、川の進路が変わってしまうほど被害となりました。地域の方からは、今回の災害は、砂防ダムを造ったがために被害が大きくなったとの声が多数聞かれました。また、今回の災害が広範囲であるため、この地域への人的支援が不足しているともいわれ、早急なボランティア支援が必要だと思われます。



午前～坂西

この地域へは渋滞がひどく、到着までかなりの時間を要したため3件のみの訪問となりました。そのうち1件は元職員である組合員さんで、ご本人は不在でしたが、ご家族に経口補水液と名刺をお渡し喜んでいただきました。他の2件の方は福島生協病院の患者さんでいずれも服薬中のお薬があり、お1人はすでにお薬が切れ、もう一方は次の受診日に行けるかどうかの不安を抱えられておられました。持ち帰り、すぐに病院に連絡し対応を依頼しました。

午後～泥かき隊 無念の撤退

坂東の組合員さんからの要望で床下の泥の撤去を手伝ってほしいとの連絡が入り、急遽予定していたコースを変更し、昼から8名で出発しました。ところが、「車が進まない」と本部へ連絡がはいり、1時間後に連絡してみるとまだ広島市内東雲付近とのこと。これでは付くのがいつになるかわからず、実質現場での作業は困難との判断し、撤退することになりました。組合員さんには低調に事情をお話しし、明日以降の支援につなぎました。来週の支援へ職員の登録も続々と届いています。暑い日が続きますので、体調管理を万全にして現地に臨んでください。

現地に入る方へ

飲み物、タオルとともに、防塵用のゴーグル（または眼鏡）、マスクは必要です。もし余裕があれば、支障のない限りで写真を撮っていただき、組合員活動推進課へお送りください。

協同組合がよりよい社会を築きます